

2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	紺屋あかり
演習テーマ	海の環境と人々の暮らし
内容と 卒業論文の 指導方針	履修学生は自らが設定した研究テーマについて調査・分析を重ね、成果を卒業論文として仕上げること。卒業論文にはかならず、問い合わせの設定、問い合わせの検証、検証から導かれた結果という論理的思考の過程を提示すること。卒論執筆に際して、最低でも関連文献 10 冊を精読すること。卒論に関する個別指導を希望する場合はオフィス・アワーを積極的に活用すること。
メール・アドレス	konya@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜の昼休み（事前予約制）
授業概要	オセアニア地域および沖縄を事例に、次の 3 つのテーマについて探求する。（演習 3A/3B 共通） ① 歴史（植民地経験、ポストコロニアル状況） ② 文化・社会（オセアニアや沖縄のことば、身体表象、儀礼、先住民間問題、ジェンダーなど） ③ 環境（海の環境問題、リゾート・観光開発など）
学習目標	1. 海と人との共生のあり方について独自の視点から分析を進める 2. 自らが設定した研究課題に取り組む
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回～14回 卒論輪読会及びグループディスカッション 第15回 まとめ ※卒論輪読会とは、事前に発表者の原稿を全員が読み、その内容についてディスカッションすることを指す。
予習	卒業論文の執筆、発表レジュメの準備、関連文献の精読等を行う。
復習	卒業論文の執筆、発表レジュメの準備、関連文献の精読等を行う。
授業に関する 注意事項	文化人類学、及びオセアニア地域研究を受講すること。
教科書	特に使用しない。初回の授業でリーディングリストを配布する。
参考書	各自の研究テーマに応じて課題図書を指定する（授業内で配布）。
成績評価の基準	授業への参加（質問、討論、発表など） 50% レポート 50%
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	可 / 否 / その他()
備考	